

【選手案内】

第20回木曽三川ジュニアトライアスロン大会 2025

小学生低学年:小学生高学年;中学生:高校生わんぱくトライアスロン大会
エイジ;スーパースプリント:スプリント大会

開催場所 木曽三川国営公園:岐阜県 海津市 海津町

開催日:日程

2025年 7月 20日(日)			
駐車場オープン	6:30	～	
受付 全カテゴリー	7:00	～	8:00
トランジションオープン全カテゴリー	7:00	～	8:00
バイクセットは、全カテゴリー、必ず8時00分までに行ってください。			
開会式:競技説明会:放送にて	7:50	～	
スイムチェック、アップ	スタート10分前		
小学生3年、2年、1年 スタート	8:10	2分ウエブ	
小学生6年、5年、4年	8:30	2分ウエブ	
小学生表彰式	8:50(予定)	順位確定による	
中学生、エイジSST の部スタート	9:30	(同時)	
高校生、エイジ ST の部スタート	9:30	(同時)	
中学生、エイジSST表彰式	10:20予定	順位決まり次第	
高校生、エイジ 表彰式	11:00予定	〃	
場内放送によりご案内します			

- * 気象条件、国営公園利用規則等その他の事由、大会実行委員会の判断により、大会の中止、縮小、競技種目や距離の変更がされる場合があります。
- * 大会進行状況により、タイムスケジュールが変更される場合があります。
場内放送にてご案内いたします。一部施設内におきましても聞き取れない場所が有ります。

場所

岐阜県海津市海津町 国営木曽三川公園 展望タワー:長良川サービスセンター
国営木曽三川公園は、広範囲です。事前に場所を確認願います。

コース周回数

カテゴリー		スイム		バイク		ラン	
		総距離	周回数	総距離	周回数	総距離	周回数
小学生1～3年		100m	直線	2.8km	1	800m	1
小学生4～6年		150m	直線	5.8km	1	1.2km	1
中学生:エイジスーパースプリント		375m	1	9.2km	2	2.5km	2
高校生:エイジスプリント		750m	2	17.6km	4	5km	4

注) バイクコースは、周回コース(2kmまたは4.2km)に+400m往復で800m増えます。

表彰

小学生 各学年 男女 1位～3位 中学生 男女 1位～3位 高校生 男女 1位～3位
エイジスーパースプリント:エイジスプリントトライアスロン 男女各1位～3位

競技規則

本大会競技は(公社)日本トライアスロン連合の公表の案内、指導、競技規則
(以下JTUTU規則と表示する)を適用いたします。

施設利用

一部ローカルルールを適用します。選手案内を基本とし、環境等、その他による変更の場合は、当日の競技説明会にて発表します。選手は必ず出席ください。
当日、車は必ず指定の(河川敷)駐車場にとめてください。閉門は17時。鎖にて施錠します。
会場周辺の一般道に駐車されますと、周辺住民からの協力が得られなくなり、大会運営が存続できません

駐車場

岐阜県海津市の木曽三川公園展望タワーより河川敷に降り、河川敷道路を上流へ。約1.5km
他の駐車場を利用されますと大会に支障があります。また、大会選手用の駐車場でない場合は、大会終了まで出れないこともあります。コースの下見はできますが、公園内は一般開放されています。

建物施設

サービスセンター3階を選手、同伴者もご利用できます。休憩はこちらで行ってください。
荷物は3階以外の場所に置かないようお願いいたします。荷物、貴重品は自己管理です。
監視員等は配置いたしません。不要に大きな場所取りや、荷物の紛失等ご注意ください。
大会時以外の遊泳は禁止です。

コース

国営公園内を使用しておりますので、一般の利用者もおります。周囲にご注意ください。
男女別更衣室、コインロッカー、(100円使用:返却式)シャワールームがサービスセンター3階に設置されております、一般者共通。人数分には不足しますが、譲り合いご利用ください。
陸上コースは舗装されておりますが、荒れているところもあり、砂利や砂が浮いていたり窪み等あり、注意が必要です。
競技中、競技中以外でもバイク乗車時はヘルメット着用ストラップをきちんと締めてください。
競技中を含め、コース内を応援者、一般者が横断、通行する場合があります。接触に注意ください。
常に前方に注意し、不測の事態に備えてください。

体調管理

ご自身で判断できない場合は、大会前に医師の診断を受け、完走するのに余裕のある体力を有することをご確認ください。レースは、長時間かつ過大な運動量を必要とされます。
大会前日の飲酒、夜更かしは控え、食事、水分を十分に摂りゆつくり休んでください。
大会当日は、適度な朝食をとり水分補給、捕食の準備をお願いします。
河川敷特有の天候になる場合があります。異常な暑さ、寒さ、風雨等に対応できる準備をお願いします。
公益社団法人 日本トライアスロン連合 サイト:<http://www.jtu.or.jp/index.html>より、

受付	トライアスロン競技の基本注意事項、運動中の事故を防止するために、のページを熟読願います。 受付時にレースNo、氏名を申告ください。受付窓口はレースNoで区分されています。
用具の検査	配布物品、ゼッケン(胸)、スイムキャップ、バイクシール(フレーム貼付け)です。 事前検査は行いません、各自にて十分に点検、整備、検査し、JTU規則適合品を使用ください。 小学生については、事前にスタッフに確認ください。
マーキング	ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。 左腕上腕に縦書き。
レースNo(大)	胸の位置に安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下ならず、見苦しく無い位置。
バイクシール 記録	バイク時＝背面、ラン時＝前面。固定の場合は前面に取り付け。スイム時は不要ですが、つけても可。 バイクのフレーム、またはサドル下右側面に貼り付けトランジションへ。バイクピックアップ時、No確認します。 計測は、電子計測、計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、スイムスタート10分前より、 スイムスタート付近にてお渡しします、レースNoを確認し、どちらかの足首にしっかりと 取り付けてください、(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると 正確な記録が測定できなく完走されても”棄権”となります。ご注意ください。 記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。 レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。 各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。 バイクにはサイクルメータの装着を推奨します。スイム、ランともに周回数の確認を行ってください。
リタイア	体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。 大会会場は広範囲に及び、主催者側だけでの安全管理では予測のできない状況もあります。 自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。 調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終えられるようご協力ください。 又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。 リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。 リタイアする場合でもコースの内外ともに逆走は禁止です、コース外の芝生内を移動してください。 競技を続行している選手に支障の無いように、ご注意ください。 (周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。) スイム、バイク、ランそれぞれのパートにて、大会スタッフの判断により、棄権の勧告、指示をだす場合があります。 大会運営上や選手の体調の不調等による、ドクターや審判員の判断により、棄権とする場合があります。 棄権後も、レースNoゼッケン、バイクシールは必要です。破棄、紛失しないでください。 勇気あるリタイアが、次のトライアスロン大会、また、他への競技参加へのすたー一となります。
緊急時の心得	
スイム	競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。 近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。
バイク:ラン 救護	体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。 医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じ対応できるよう待機しています。 会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、 周囲のスタッフまたは選手に依頼ください。 重大な事故に関しましては救急搬送いたします、健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。 緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。 緊急時は選手間の追い抜き禁止。
コース	周回数、コースミスは自己責任です。必ずスタート前にコースの確認をしてください。 コースから逸脱した場合は、逸脱した場所より復帰ください。できれば、近くのスタッフの 確認を申請願います。 周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、 スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。 スタッフが周回数やコースを競技中に教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。 コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。 コースは一人での閉鎖されたコースではありません。前方や路面状況に注意して安全に走行してください。 舗装面上に吹き上がった砂、ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断など 十分注意し不測の事態に備えてください。自分は良くても、前方者や横の選手が倒れる場合もあります。 他の選手の急激な進路変更や減速に対応できるようにレース中注意を払ってください。 コース設定が河川敷のため、特性上みずはけが悪く水たまりができる箇所も何カ所かあります。 ヘッドセット カメラ等の使用は禁止します。他からの音声の確認できないため、規則として禁止。
スイム	スタート位置、コース、周回数は、カテゴリーにより異なります、スタート10分前に集合ください。 中学、高校生、エイジは、本部近くのスロープから、下流に向かって泳ぎます。右回りの周回コース。水上からのスタートです。 小学生低学年は、スタート①高学年は②から、下流の仮設コンテナ付近からのスタート。上流に向かって泳ぎ、 スロープから上がりバイクに進みます。 コースの岸川は、浅いコンクリートとなっております。岸川は危険ですので、近寄らないように、飛び込みは禁止です。 スイムチェック後は、スイムエリアから出れません、スタート準備後に、計測バンドを受け取ってください。 コーススロープ等に伝い進行するのは禁止です。小学生は、フロート板等の使用を認めます。(個人で持ってくる) 救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。 スイムスキップ制度を適用します。:スイム途中、スタート前申し出て下さい。バイク、ランの競技を行えます。 スイムスキップ希望者は、スタッフに申し出て下さい。コースの状況により、区切ってバイクスタートおこないます。 スイムスキップは、スイム計測地点手前からバイクスタートします。係員の指示に従ってください。 コースの水深100から140cm。川のため、水深が確定しません、危険と判断された場合は、スキップ、補助具の使用を 各自で判断ください。ただし、表彰対象者とならない場合があります。

- バイク** いずれのカテゴリもドラフティング禁止レースです。左側通行、右から追い越しです。
1周4.2km(小学生低学年は2km)のコースを周回します。川側を、上流(北)へ堤防側に横断して、戻ってくる、左回りの周回コースです。周回コースに入るまでに、約400m走行します。バイクセットは開会式前に行ってください。式典後レースがスタートしますと、十分な時間がありません。トランジションへは、選手以外は入れません。小学生で自分でバイクセットできない方は、近くのスタッフに相談ください。開会式前まで、対応します。トランジションエリアにはレースNoとバイクシールをつけてヘルメットをかぶり、バイクを押して指定の場所から入場。また、クローズ後は選手も入れません。レースに使わないものは、持ち込めません。おけません。乗車禁止。片足ペダル走行も禁止。バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止いたします。バイクセットは、ラックのレースNo側を前にして、サドル掛けとします。荷物は、ハンドル側に置いてください。選手はレースNo表示側を走ってください。他者の場所にバイクをかけると、ペナルティの対象となります。バイクや用具の検定は行いませんが、JTU 規則に適合したもの。安全に競技を完走でき、他者に迷惑をかけない仕様であること。他者に迷惑をかけない仕様であること。小学生は一般に広く認められている。ご不明な方は、事前にお問い合わせください。(小学生は、用具、バイクセットが難しい場合は、スタッフにて対応します。緩和の対応もします)レース中、バイクに触る前に、ヘルメットをかぶりストラップをしめる。バイクをラックにかけてから、ストラップを外す。乗車ラインを越えてから、片足が完全に着いた後に、乗車。降車ラインの手前で片足が完全についていること。第2トランジションは、バーにハンドル側2点またはサドル掛け。向きは問いません。荷物はまとめる。各カテゴリ(低学年除く)のコースは同一ですが、周回数は異なります。サイクルメーターの設置を推奨します。左側走行。右から追い抜き。ドラフトゾーンは、先行のバイク前輪の先端から後方12m。ゾーンに入れるのは25秒以内。追い抜かれた選手は、後退する。追い抜いた選手は、かぶせない。すぐに左側に入らないように。バイクでの事故が多く発生しております。カーブや進路変更の際、他の選手と接触しないよう、注意してください。ふらつきや急な進路変更をしないでください。モーターバイク、車両がコース内に入ります。トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。(ルールや運営上不具合の場合) 場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。会場内、トランジション内での荷物、用具の盗難、紛失が他会場で数多く発生しています。貴重品の管理には注意してください。バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。ピックアップの際は必ずご本人がレースNoを持って(付けて)引き取りに来てください。ばいくに貼ってあるレースNoと本人のレースNoを照合させていただきます。悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まりますが、遠方からのご来場者もおられるため、競技本部の配慮にて、レースの途中での引き取りを行います。ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、ご声援をお願いします。選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。ラン ランスタート地点から下流に向かいそれぞれの折り返し地点にて折り返します。右回り。折り返しポイントは、3か所あり、係員は個別に誘導しません。レースが始まる前に、自分の折り返し地点を実際に確認ください。左側通行。右側から追い越し。追い抜きは一声かけて。エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ** フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。同伴F I N I S Hは、他の選手にご配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。多人数での同伴は控えてください。フィニッシュ後もレースNo.ゼッケンは必要です。バイクピックアップ他。破棄、紛失しないでください。
- ペナルティ** 競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合はスタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。競技規則に違反した場合には、審判員より、ストップ&ゴー、タイムの加算、注意、警告が与えられます。悪質者は、失格となります。また、失格のコールに、注意、警告は必要とされません。審判員の判断、他の競技者への意見、競技会場への意見は、審判長、審議委員会まで(本部に設置)詳しくは、JTU競技規則を参照ください。会場、その付近では、大会期間中を問わず、公衆道徳、各種法令、法律、等に違反する行為や大会運営を妨げる行為等、反社会的活動、団体、また企業個人を問わず営利を伴う、または目的とする行為は禁止です。速やかに退場していただきます。また、関係機関への情報提供をいたします。選手へは、出場を拒否します。
- お帰り** レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願ひ、休憩は早めに、細かく取るようご配慮願ひます。参加者全員が、楽しくレースができますようスタッフ一同願っております。コンディションにご注意願ひ、お越しいたしますよう、お待ちしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれもご注意願ひます。

ご不明な点は、事前にお問い合わせ願ひます。

事務局 〒503-0627

岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731

木曽三川ジュニアトライアスロン大会実行委員会

委員長 若山 春夫

TEL 090-5009-0277

FAX 0584-54-5506

大会情報掲載ホームページ

<http://gifu-triathlon.jp/>

競技に関するご質問は、大会名を添えてgtu@live.jp(桑原)まで